

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
 (仮称)ヴェルディ大芝一丁目

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境			0.40					3.2
1 音環境		2.6	0.15	2.8	1.00			2.7
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1	暗騒音レベル	3.0	1.00	3.0	1.00			
2	設備騒音対策	-	-	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	3.5	0.40			
1	開口部遮音性能	3.0	1.00	3.0	0.30			
2	界壁遮音性能	-	-	4.0	0.30			
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	4.0	0.20			
4	界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境		2.6	0.35	3.0	1.00			2.9
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	1.00			
1	室温設定	3.0	0.63	-	-			
2	負荷変動・追従制御性	-	-	-	-			
3	外皮性能	3.0	0.38	3.0	1.00			
4	ゾーン別制御性	-	-	-	-			
5	温度・湿度制御	-	-	-	-			
6	個別制御	-	-	-	-			
7	時間外空調に対する配慮	-	-	-	-			
8	監視システム	-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		3.0	0.25	3.5	1.00			3.4
3.1 昼光利用		3.0	0.43	4.0	0.50			
1	昼光率	-	-	5.0	0.50			
2	方位別開口	-	-	3.0	0.30			
3	昼光利用設備	3.0	1.00	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		-	-	3.0	0.50			
1	照明器具のグレア	-	-	-	-			
2	昼光制御	-	-	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.21	-	-			
1	照度	3.0	1.00	-	-			
2	照度均斉度	-	-	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.36	-	-			
4 空気質環境		3.6	0.25	3.6	1.00			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1	化学汚染物質	4.0	1.00	4.0	1.00			
2	アスベスト対策	-	-	-	-			
3	ダニ・カビ等	-	-	-	-			
4	レジオネラ対策	-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1	換気量	3.0	0.50	3.0	0.33			
2	自然換気性能	-	-	3.0	0.33			
3	取り入れ外気への配慮	3.0	0.50	3.0	0.33			
4	給気計画	-	-	-	-			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1	CO ₂ の監視	-	-	-	-			
2	喫煙の制御	-	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			2.9
1 機能性		2.6	0.40	3.2	1.00			3.1
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.60	4.0	0.60			
1	広さ・収納性	-	-	-	-			
2	高度情報通信設備対応	-	-	4.0	1.00			
3	バリアフリー計画	1.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		5.0	0.40	2.0	0.40			
1	広さ感・景観	-	-	3.0	0.50			
2	リフレッシュスペース	-	-	-	-			
3	内装計画	5.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		-	-	-	-			
1	維持管理に配慮した設計	-	-	-	-			
2	維持管理用機能の確保	-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		2.9	0.31	-	-			2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1	耐震性	3.0	0.80	-	-			
2	免震・制振性能	3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.9	0.33	-	-			
1	躯体材料の耐用年数	4.0	0.23	-	-			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	3.0	0.23	-	-			
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	2.0	0.09	-	-			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.08	-	-			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	3.0	0.15	-	-			
6	主要設備機器の更新必要間隔	2.0	0.23	-	-			

2.3 適切な更新			-	-	-	-	
2.4 信頼性			2.8	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	情報設備機能の多様化を図る。	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			2.8	0.29	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50	
1	階高のゆとり		-	-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.8	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		2.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		敷地内の緑化に努める。	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.4
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		設備関係は高効率なものを使用する。	4.0	0.40	-	-	4.0
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水		設備機器は節水用、節水機能のものを使用する。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	
1.2.2 雑排水再利システム導入の有無			-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.63	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み			3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	
3.2.1 消火剤		使用目的なし、消火器のみ。	4.0	0.33	-	-	
3.2.2 断熱材			3.0	0.33	-	-	
3.2.3 冷媒			2.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		計画においてある程度の条件を満たす。	4.4	0.33	-	-	4.4
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
2.3.1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	
2.3.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
2.3.3 交通負荷抑制		適切な駐車場、駐輪スペースと出入口の十分な接道幅の確保をする。	4.0	0.33	-	-	
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
3.1.1 騒音			3.0	1.00	-	-	
3.1.2 振動			-	-	-	-	
3.1.3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			1.6	0.40	-	-	
3.2.1 風害の抑制			1.0	0.70	-	-	
3.2.2 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		照明は計画的に配置する。屋外広告はない。	5.0	0.70	-	-	
3.3.2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	